



# 鎌倉からはじまった。 1951-2016 All Begun in Kamakura

## 1. 神奈川県立近代美術館 鎌倉 外観 1990年代

神奈川県立近代美術館は、1951年11月17日に日本で最初の公立近代美術館として鎌倉の鶴岡八幡宮境内に開館いたしました。敗戦まもない占領下の日本において、新たな文化の発信地として開館した近代美術館は、多くの人々の共感と支持を得てきました。1966年に新館を増築、1984年に鎌倉別館、2003年に葉山館を開設し、60年余にわたって美術館活動を続けてきましたが、2016年1月末をもって鎌倉館の展覧会活動に終止符を打つことになりました。2016年度以降は、葉山館と鎌倉別館の二館体制にて美術館活動を続けていきます。

鎌倉館の最後の年となる2015年度は、これまでの鎌倉での活動を振り返り、「鎌倉からはじまった。1951-2016」展と題して、所蔵作品を中心に三期に分けて紹介いたします。

## 鎌倉からはじまった。1951-2016

### PART 1: 1985-2016 近代美術館のこれから

All Begun in Kamakura 1951-2016

PART 1: 1985-2016 The Present and Future

2015年4月11日(土)～6月21日(日)

休館日: 月曜日(ただし5月4日は開館)

開館時間: 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料: 一般1,000円(900円)、20歳未満と学生850円(750円)、65歳以上500円、高校生100円

※( )内は20名以上の団体料金です。

※鎌倉館の観覧券で、当日に限り鎌倉別館を無料でご観覧いただけます。

※中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料です。その他の割引につきましてはお問い合わせください。

※ファミリー・コミュニケーションの日:

毎月第1日曜日(今回は5月3日、6月7日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は、優待料金(65歳以上の方を除く)でご観覧いただけます。

主催: 神奈川県立近代美術館

#### <神奈川県的基本的な考え方>

鎌倉館は老朽化が顕著になっていますが、国史跡に指定された鶴岡八幡宮境内では、史跡にそぐうもの以外の現状変更が認められず、美術館として改修することが困難なことから、鶴岡八幡宮との借地契約が満了する平成28年3月末で、美術館としての活動は終了することとしております。

予告

PART 2: 1966-1984 発信する近代美術館

2015年7月4日(土)～10月4日(日)

PART 3: 1951-1965 「鎌倉近代美術館」誕生

2015年10月17日(土)～2016年1月31日(日)

## 神奈川県立近代美術館 鎌倉

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-53

Tel. 0467-22-5000 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

#### ■お問合せ先

神奈川県立近代美術館 鎌倉 〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-53

tel. 0467-22-5000 / fax. 0467-23-2464 / e-mail. [fm4313.h6g@pref.kanagawa.jp](mailto:fm4313.h6g@pref.kanagawa.jp)

広報担当: 長島、三本松 展覧会担当: 橋、長門、西澤

## PART 1: 1985-2016 近代美術館のこれから

PART 1: 1985-2016 The Present and Future

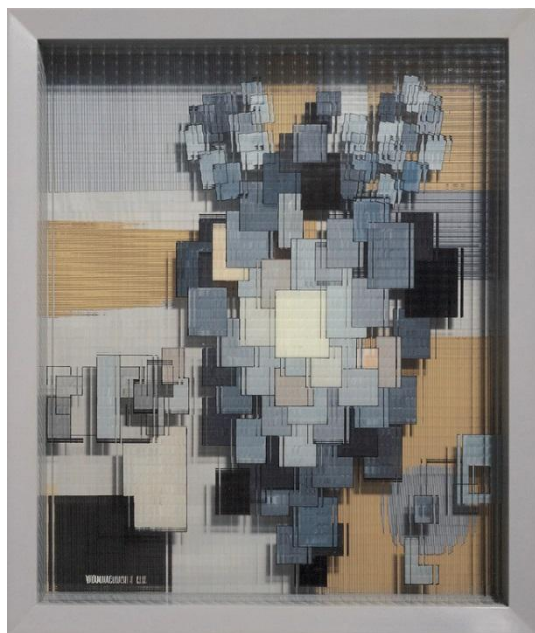
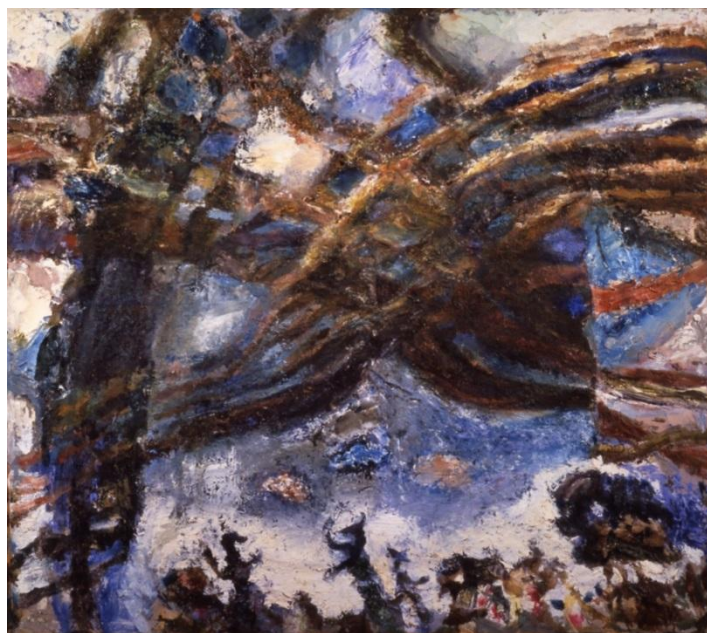
鎌倉から  
はじまった。  
1951-2016  
All Begun in  
Kamakura



2. 斎藤義重《鬼》1957年 油彩、合板 神奈川県立近代美術館蔵

第一弾となる「PART1: 1985-2016」では、1985年から2015年までに鎌倉館で開催した展覧会を取り上げます。この時期は、テオドール・ジェリコー、オットー・ディックス、ジョルジョ・モランディなど海外作家の大規模な展覧会と並行して、日本の近代美術の回顧展や独自の視点によるテーマ展などを積極的に開催しました。また、活躍中の作家を取り上げた「今日の作家たち」シリーズは、1988年から2007年までに11回を数えます。さらに、日本の近代美術の海外への発信が活発になったのもこの時期の特徴であり、海外の美術館や研究者との共同企画による「ジョン・ラスキンと近代日本」、「モボ・モガ 1910-1935」展が開催されました。

2003年の葉山館オープンを機に三館体制となってからは、機能や設備の充実とともに美術館活動も多様化してきました。本展は、時代とともに成長し、変化を遂げてきた近代美術館の30年を作品と資料・写真によって振り返りつつ、これからの見据えていこうというものです。

3. 山口勝弘《ヴィトリオーヌ No.37》1953年  
油彩、モールガラス、ガラス、合板 神奈川県立近代美術館蔵

4. 朝井閑右衛門《電線風景》1960年 油彩、カンヴァス 神奈川県立近代美術館蔵



## PART 1: 1985-2016 近代美術館のこれから

PART 1: 1985-2016 The Present and Future

鎌倉からはじまった。  
1951-2016  
All Begun in  
Kamakura

## 関連企画

## ■館長によるギャラリートーク

話し手: 水沢勉(当館館長)

4月26日(日)

午後2時~3時

申込不要、無料

(ただし「鎌倉からはじまった。」展の当日観覧券が必要です)

## ■担当学芸員によるギャラリートーク

5月3日(日)、6月7日(日)

各日午後2時~2時30分

申込不要、無料

(ただし「鎌倉からはじまった。」展の当日観覧券が必要です)

5. 堀内正和《D氏の骨ぬきサイコロ》1964年(1993年鑄造)  
ブロンズ 神奈川県立近代美術館蔵

## 第二会場 鎌倉別館

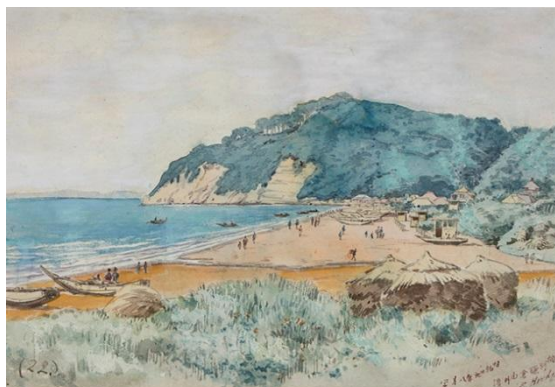
2015年4月11日(土)~6月21日(日)

鎌倉からはじまった。1951-2016

## 日本画の部 (併陳:平成26年度新収蔵作品)



6. 片岡球子《剃髪》1950年 紙本着彩 神奈川県立近代美術館蔵

7. 本多錦吉郎《相州鎌倉由井濱》1896年 水彩、紙  
神奈川県立近代美術館蔵

鎌倉別館では、収蔵作品から選りすぐりの日本画を  
展示し、併陳として平成26(2014)年度の新収蔵作  
品を紹介いたします。

## ■「新収蔵作品」展担当学芸員によるギャラリートーク

4月25日(土)、6月6日(土)

各日午後2時~2時30分

申込不要、無料

(ただし鎌倉別館の当日観覧券が必要です)

## 神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-8-1

Tel. 0467-22-7718 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>